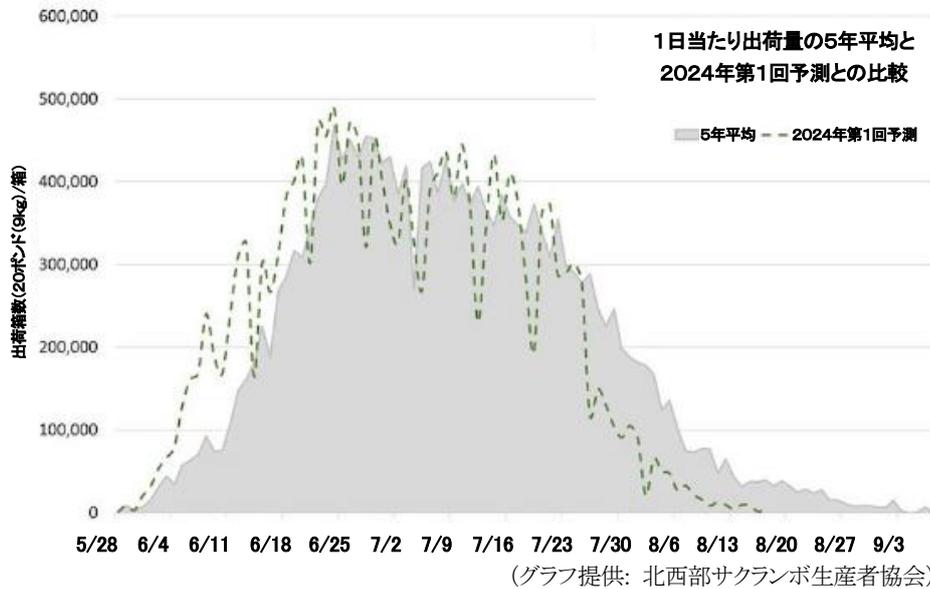


## 米国北西部のサクランボは十分な出荷量が見込まれる

The Packer 2024年5月8日



米国北西部のサクランボ業界は、2024年の収穫量は前年比12%増で2,090万箱の豊作と予想している。

北西部サクランボ生産者協会のニュースリリースによると、2024年の北西部のサクランボの収穫は2023年に比べ10～12日早く開始される。しかし業界のリーダーらは、シーズンの終わりの8月には2023年に比べて出荷量が少なくなると予想している。

北西部のサクランボ業界では、6月1日頃から90日近くにわたって果実を出荷すると見込んでいる。リリースは、今シーズンのカリフォルニア州産と北西部産のサクランボの切り替わり時期には、小売業者は品不足に耐える必要はないだろうとして、「今年、北西部から早い時期に出荷される果実は、サクランボを重視している小売業者がカリフォルニア産から移行するのに十分役立つはずである。カリフォルニア州産のサクランボから、6月初旬に出荷が始まる北西部のサクランボに移行する間、小売業者は6月と7月のすべての週を通してサクランボを調達する十分な機会があるはずだ」としている。(以下は北西部サクランボ生産者協会のリリースから)

### 寒波の一撃

冬の間、標高の高い果樹園(標高1,900フィート(約580メートル)以上)は氷点下の気温に見舞われたため、シーズン終盤に成熟する果実が少なくなる。全体として、北西部の早生と中生の園地では着果量が平年並みと見られるが、晩生(7月下旬と8月全体)の収穫量(トン数)は約50%減少する。

主に、ワシントン州ウェナチー市から北はカナダ領内までの晩生の果樹園が冬の低温の影響を受けた。一方、ワシントン州ヤキマ市、オレゴン州ダレス市及び同フードリバー市周辺の標高の高い果樹園は、北部の果樹園よりうまくいっているようだ。

### サクランボの喜び

カリフォルニア州のサクランボ(甘果オウトウ)業界は、2024年に1,020万箱(18ポンド(約8.2kg)/箱換算)近くの収穫を予測している。収穫は4月19日に始まり、5月7日頃までに40万箱強が出荷された。

今シーズンの太平洋岸地域の「豊富な」サクランボの収穫は、消費者と小売業者の両方に、サクランボが提供する季節の風味、健康上の利点、及び販売上の利益を享受する十分なチャンスがあることを意味する。

「あなたが小売業者なら、青果物売り場で売り場面積当たり売上高第1位になる品目の販促チャンスをお見逃しなく」

執筆者: トム・カースト